

# 練習用の「作業場」を用意します

ここから先、ずっと使う場所です

# 用意するのは、1-1で作った codex だけです。

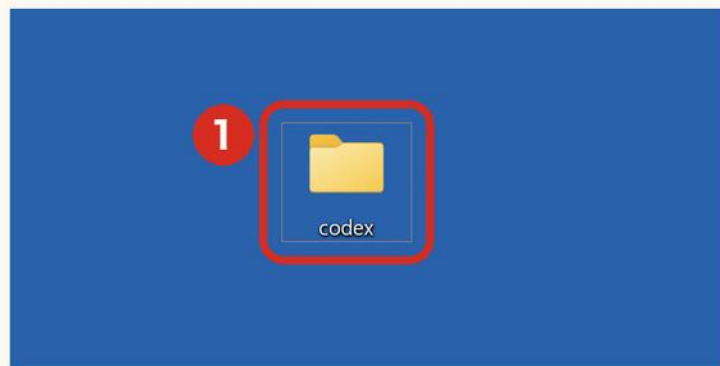
新しく作る必要はありません。この回でやるのは、その箱を「練習はここだけでやる」と決めて、そのまま使える状態か確かめることです。

# 練習は、決めた1つの場所の中だけでやります。

大事な書類や写真のある場所で練習すると、事故が起きます。遊んでいい場所を先に決めてしまいます。

## 場所は、デスクトップで大丈夫です

いつも目に入るので忘れません。開くのも一番早い場所です。練習が終わったら、そのまま消せます。画面のように、デスクトップに codex が1つある状態にしておきます。



デスクトップに codex が1つ（実機・2026年8月）

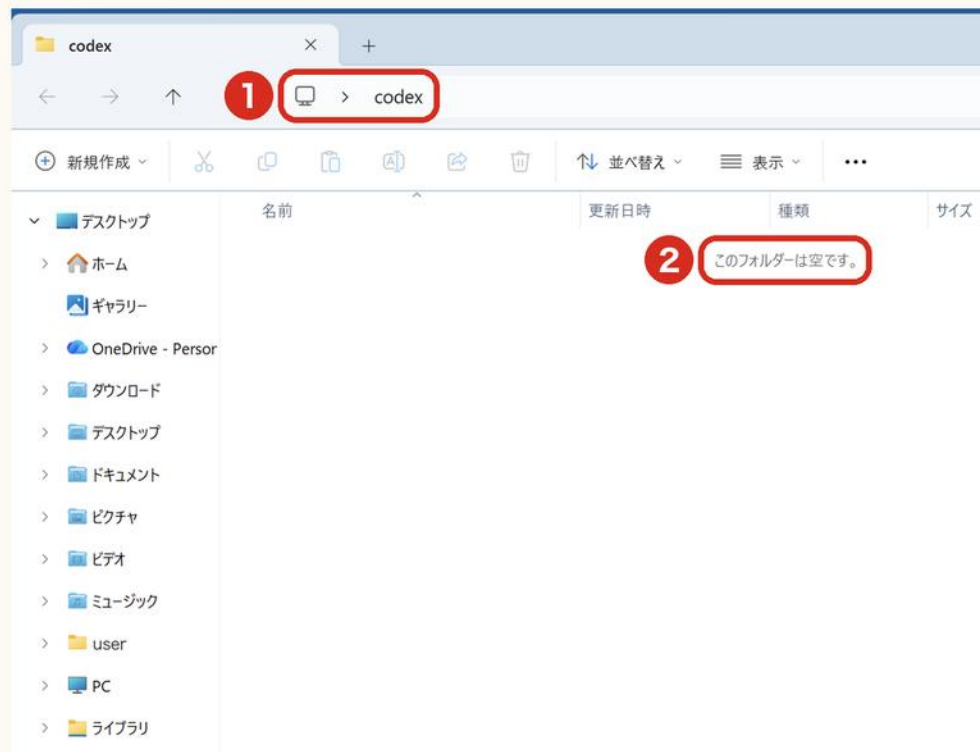
## つまずきポイント

# 名前は、ひらがな・漢字・空白を避けてください

日本語の名前でも動きますが、まれに引っかかることがあります。日本語入力を切った状態で打つ、細い英字と数字（半角といいます）だけにしておくと安全です。1-1で作った codex が、ちょうどこの条件を満たしています。

## できあがりを確認します

1-1で作ったものが、そのまま作業場になります。デスクトップに codex というフォルダが1つある状態になっていれば、それでできあがりです。



これが、この先ずっと使う作業場になります

第1章はここまで

## 準備がすべて整いました。

拡張子が見える設定、今どこにいるかが分かる目、そして自分の作業場。次の章から、いよいよアプリを入れます。